



OK たよひ

大西勝彦

活動報告

No.87

2022年4月
大府豊幸会
(事務局)刈谷市宝町8-1
豊田自動織機組合会館est内



大府市議会議員
大西勝彦

令和4年度 予算 成立！

みなさん、こんにちは。大府市議会議員の大西勝彦です。3月議会で、**新年度予算が成立**しました。一般会計では、今年度も**過去最大規模**の予算となりました。

また、3月議会でも一般質問に立ちました。「**持続可能な行政経営を行っていくために**」というテーマで、**中長期財政推計の検証と基金のあり方**について、執行部の考えを質しました。是非、ご一読下さい。



大西勝彦ホームページ
<http://www.medias.ne.jp/~onishi/>

新年度の主な事業

☆ 臨時特別出産祝金の延長【市民クラブ要望項目】

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることを踏まえ、子どもに係る生活支援として、子ども1人につき10万円を市独自に支給する臨時特別出産祝金を更に1年間延長します。令和5年4月1日生まれまで

☆ 子ども医療費の助成対象の拡大

令和4年10月から、子ども医療費の助成対象を高校生世代まで拡大します。
通院:自己負担1割 入院:自己負担なし

☆ 統合新設保育園の整備

老朽化した吉田保育園及び米田保育園を統合し、地域の拠点園となる新たな保育園を、馬池町地内に整備します。令和5年4月開園予定



☆ 小学校体育館に空調機設置

小学校5校(大府、大東、東山、共長、吉田)の体育館に電源自立型空調機を設置します。令和4年度で全小中学校への設置が完了します。

☆ 若者会議の実施

高校生や大学生等の若者の自己肯定感を育むとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成するため、若い世代の柔軟な発想を生かして政策提言を行う「若者会議」を実施します。



☆ 健康お笑い事業「OBU-1グランプリ2022withメディアス」の開催

市民芸人育成プログラムの卒業生をはじめ、プロ・アマを問わず参加可能なお笑いコンテスト「OBU-1グランプリ2022withメディアス」を開催します。

☆ 犬猫へのマイクロチップ装着費用の補助

令和3年12月に制定した「大府市人と犬及び猫との共生に関する条例」に基づき、犬や猫の健康と安全を守りつつ周辺環境との調和を図るため、マイクロチップの装着費用の補助制度を創設します。1頭当たり1,500円

☆ 大府市民球場の整備

本市初の硬式野球での利用も可能な大府市民球場について、令和4年度は試用期間と位置づけ、市民を中心とした利用団体や整備検討委員会から意見をいただき、今後の整備や運用の方針について検討します。

☆ 鞍流瀬川緑道(令和柵山橋～花咲台公園)に照明灯(フットライト)を設置【くらしの相談要望事項】

歩行者が緑や潤いを感じながら安全に歩行できるよう、河川管理用道路を活用した緑道整備を進めます。

☆ 次世代自動車購入費用補助制度の創設【市民クラブ要望項目】

ゼロカーボンシティ実現(2050年)に向け、環境性能に優れた次世代自動車の購入費用の補助制度を創設します。
FCV:50万円 EV・PHV:30万円

☆ 公用車に電気自動車(EV)4台導入【市民クラブ要望項目】

ゼロカーボンシティ実現(2050年)に向け、環境に配慮した公用車両の導入率の早期達成を目指し、4台の電気自動車を導入します。

※ 政府の方針は、2030年度までにすべての公用車を電動車とする。

☆ 消防指令車にRAV4PHV導入

消防指令車を、環境に配慮し非常時の給電を可能とするRAV4PHVに更新します。



☆ 移動期日前投票所の開設

交通弱者の投票機会確保のため、参議院議員通常選挙において試験的に移動期日前投票所を開設します。

市民クラブの主張

※大府市議会の会派「市民クラブ」は、小山・木下・三宅・野北・大西の5人で構成しています。

大府市では、自転車用ヘルメット購入費補助金や高齢者安全運転支援装置設置費補助金など、愛知県と連携して行っている補助金制度において、**申請期限**が3月31日までではなく、**3月初旬に打ち切られる**事業があります。

今回の予算審査において、私たち市民クラブは、少なくとも次年度も継続して行っていく事業については、補助金の申請期限を**3月31日の年度末にするべきだ**と訴えています。

この問題については、仲間の愛知県議会議員にも問題提起していますが、この他の大府市の補助金においても同様の問題があります。

今後も引き続き市民サービス向上のため、生活者目線で**行政運営の矛盾点を是正**していきたいと思っています。

3月議会 一般質問

※本会議の様子は、大府市議会ウェブサイトの**インターネット録画中継**でご覧いただけます。

中長期財政推計の見直しは？

(大西)

現在の中長期財政推計を策定してから、3年8か月が経つ。推計値と実績値に乖離が出てきた項目もある。**中長期財政推計を見直し**改定する考えはあるか。

(新美 企画政策部長)

地方公共団体を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しており、**10年**という長期間で財政状況を見通すことは**非常に困難**であると考えている。現時点で財政推計の改定を行う考えはないが、実施計画の財政的な裏付けとなる**3年間**の財政計画の策定を通じて、今後も計画的かつ持続可能な行政経営を推進していく。

基金のあり方は・・・

(大西)

平成15年からの基金の推移を見てみると、基金総額は順調に増え続けてきた。現在のコロナ禍においても、残高は高いレベルを保っている。基金の数を見てみると、19年間で増減を経て16種類となっている。基金の**設置及び廃止の考え方**はどのようなものか。

(岡村 市長)

私が市長に就任して以降、本市の最重要施策の財源確保や寄附金の更なる有効活用を目的として、子ども・子育て応援基金を始め、一般会計で新たに4つの基金を設置し、**戦略的かつ積極的に基金を活用した財政運営**を推進している。こうした取組については、基金の状況の「見える化」や使途に関する情報公開を通じて、財政運営の透明性の向上にも寄与していると考えている。一方、基金の設置目的を達成した場合など、その役割を終えた基金は速やかに廃止する必要があると考えている。

用品調達基金は必要か？

(大西)

大府市の基金は、財政調整基金も含め15基金が、特定の目的に対して資金を積み立てるために設置される基金、「特定目的基金」だ。しかし、**用品調達基金**だけは、特定の目的に対して定額の資金を運用するために設置される基金、「**定額運用基金**」である。最近では役割を終えたという理由で、この用品調達基金を廃止する自治体がある。用品調達基金を**廃止**する考えはないか。

(玉村 総務部長)

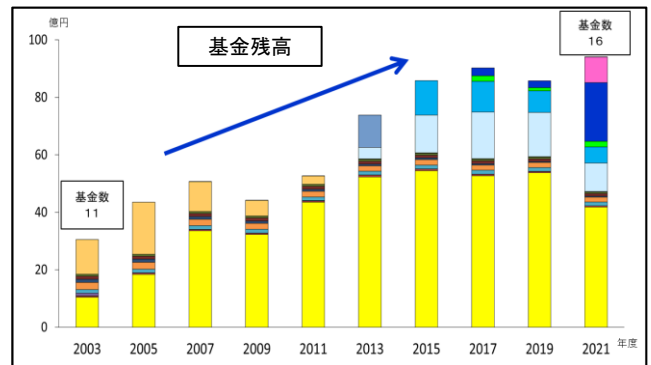
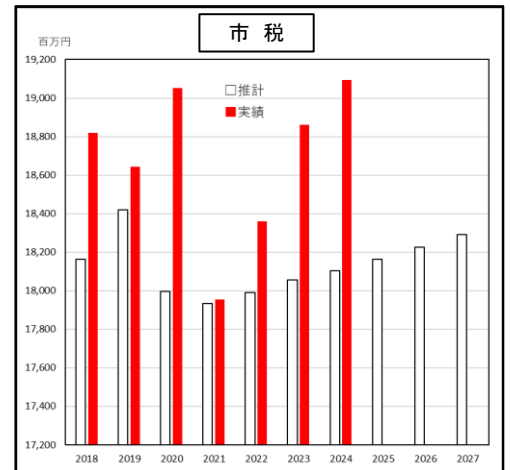
現在のシステムは財務会計システムの入替えと同時に平成28年度から稼働しており、今のところ、**用品調達基金の廃止を行う考えはない**。現在の用品調達基金に代わる他の仕組については、他自治体の取組を研究したうえ、**次回、財務会計システムの入替えの際**に導入を検討したいと考えている。

総合計画の裏付けとなる財政推計は必要・・・

(大西)

最後に意見を述べる。長期の財政見通しについては、**少なくとも総合計画の計画期間**、2030年度までは示すべきだと考える。総合計画で、政策目標ごとの指標と目標値を示しているのだから、それを達成するための裏付けとなる財政見通しを示すのが、当然だと思う。

用品調達基金については、集中購買による事務の効率化と、基金そのものの存在を**しっかり分けて考えれば**、結果は明らかであり、**廃止すべきだ**と考える。



お知らせ

通常この「OKたより」は、地域毎・団体毎に順番を決め、訪問手配りさせていただいておりますが、今般の新型コロナウイルス感染防止対応に鑑み、今回も全て郵送とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

私たち働く仲間、生活者は

参議院議員 **はまぐち誠** さんを応援しています！

